

Rotary
District2690



国際ロータリー第2690地区

2019-20年度

地区研修・協議会



ロータリーは 世界をつなぐ

期 日：2019年4月14日(日)

会 場：出雲市民会館・ニューウェルシティ出雲

主 催：地区ガバナーエレクト 古瀬 俱之

ホストクラブ：出雲中央ロータリークラブ



ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある；

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること（R1 定款第4条、標準クラブ定款第5条）。

四つのテスト

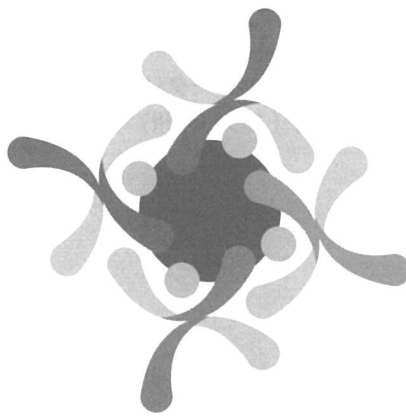
言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

ロータリアンの 行動規範

ロータリアンとして、私は以下のよう
に行動する。

1. 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
2. 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
3. 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
4. ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。



ROTARY
CONNECTS
THE WORLD



2019 - 20 年度
国際ロータリー会長

マーク・ダニエル・マローニー

Decatur ロータリークラブ所属
米国（アラバマ州）

プロフィール

税法、遺産、農業法を専門とする Blackburn, Maloney, and Schuppert 法律事務所の社長であるマローニー氏は、米国南東部・中西部の大手農場経営者の顧問弁護士であるほか、米国弁護士協会の農業関係委員会の委員長を務めています。また、米国弁護士協会とアラバマ州弁護士協会、アラバマ州法律協会の会員です。

地元ジケーターでも熱心に活動し、自身が所属する教会の財務委員長と地元カトリック学校理事長のほか、Community Foundation of Greater Decatur 会長、Morgan County Meals on Wheels 会長、United Way of Morgan County 理事、Decatur-Morgan County 商工会議所の所長を務めています。

1980 年にロータリークラブ入会し、以来、RI 理事、財団管理委員と副管理委員長、ジョナサン・マジアベ 2003-04 年度会長のエイドを務めました。また、規定審議会の議長と副議長、運営議事手続きの専門家、研修者のほか、2004 年大阪国際大会委員会のアドバイザー、2014 年シドニー国際大会の委員長も務めました。

ガバナーとなる前には、研究グループ交換のリーダーとしてナイジェリアに赴いた経験もあります。

ロータリー財団関連では、未来の夢委員長、ロータリー財団地域コーディネーター、財団研修セミナーのモデレーター、恒久基金米国アドバイザー、平和センター委員、WASH（学校での水・衛生）委員会のアドバイザーを歴任しました。

同じ法律事務所の弁護士であり、ジケーター・ロータリークラブの元会長でもあるガイ夫人とともに、ポール・ハリス・フェロー、メジャードナー、遺贈友の会会員となっています。

ロータリーは世界をつなぐ

ロータリーの礎は「つながり」です。若い弁護士としてシカゴにやって来たポール・ハリスがロータリーを創設した最大の理由、それは見知らぬ街でほかの人たちと「つながる」ことでした。それから1世紀以上が経った今、私たちの周りには、ポール・ハリスの時代には想像もできなかったような友情とネットワークを築くための方法が数多く存在します。それでも、ロータリーにおける「つながり」は独特であり、ほかに類を見ません。

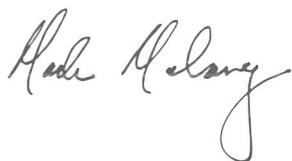
国際ロータリーには、地域社会とつながり、職業のネットワークを広げ、強くて末永い関係構築ができる確固とした使命と構造があります。会員による数多くのプロジェクトやプログラム、ポリオ撲滅活動におけるロータリーのリーダーシップ、国連との協力などを通じ、私たちはグローバルコミュニティとつながっています。私たちの奉仕活動は、同じ価値観を共有し、より良い世界のために行動したいと願う人びとの結びつきをもたらします。また、ロータリーがなければ出会うことがなかった人びと、共通の考えを持った人びと、私たちの支援を必要とする人びととつながり、世界中の地域社会で人生を変えるような活動を行うことを可能にしています。

21世紀の新たな10年の始まりに、私たちはロータリーの未来を形作っています。2019-20年度、ロータリーは新しい戦略計画を実行に移し、規定審議会が採択した革新性に応え、より活性化された重点分野において活動します。しかし、ロータリーの未来を形作る本当の場所はクラブです。刻々と変化する現実に対応するために、ロータリーはクラブに注力していかなければなりません。

クラブはロータリーでの経験の中心部ですが、今ではクラブのあり方をより創造的かつ柔軟性をもって決めることができます。これには例会の方法や、何をもって例会とするかを検討することも含まれます。会員増強のアプローチにおいては、組織立った戦略的・革新的な方策が必要です。そうすることで、地域社会とのより広く、深いつながりができるだけでなく、より多様な会員に魅力を感じてもらい、積極的な参加を促すことができるでしょう。

実際のところ、ロータリーは家族です。そうであるにも関わらず、会員組織の構造やリーダーシップの要求などがあることで、今日の若い職業人にとってはロータリーが手の届きにくい存在となっているようです。ロータリーは、家族との時間を犠牲にするのではなく、家族との時間を補うような経験を提供する場である必要があります。クラブが温かく、みんなを受け入れるような雰囲気があれば、家族と奉仕活動は両立でき、家族志向の若い職業人にロータリー奉仕や市民としての参加の機会を提供できます。また、ロータリーの役職に対する期待事項を、多忙な職業人にあわせて現実的かつ管理可能なものとするすることで、将来ロータリーのリーダーとなる次世代のロータリアンのスキルを高め、ネットワークを築くことができるでしょう。

2019-20年度には、「ロータリーは世界をつなぐ」のテーマの下、ロータリーの奉仕を通じて、有能で思慮深く、寛大な人びとが手を取り合い、行動を起こすためのつながりを築いてまいりましょう。



2019-20年度国際ロータリー会長
マーク・ダニエル・マローニー

地区ガバナーエレクトプロフィール



国際ロータリー第 2690 地区
地区ガバナーエレクト

ふるせ ともゆき
古瀬 俱之

生年月日

1946年1月16日

所属RC

出雲中央ロータリークラブ

職業分類

内科医

■略歴

- 1970年 3 月 鳥取大学医学部卒業
- 1979年 7 月 鳥取大学医学博士号取得
- 1983年 6 月 米国インディアナ大学客員助教授
- 1986年10月 出雲市稗原町にて開業
- 1989年 5 月 日本内科学会認定内科医
- 1989年 6 月 出雲市教育委員
- 1989年 7 月 医療法人古瀬医院理事長
- 1991年 4 月 日本循環器学会認定循環器専門医
- 1992年 4 月 出雲市教育委員長
- 1995年10月 市森神社宮司
- 1995年 4 月 島根県卓球協会ジュニア強化委員長

■ロータリー歴

- 1992年 3 月23日 出雲中央ロータリークラブ入会
- 1994－95年度 第4代会長
- 1998－99年度 米山記念奨学生カウンセラー
- 2005－06年度 第4グループガバナー補佐
- 2015－16年度 地区雑誌・広報委員会委員
- 2017－18年度 地区ガバナーノミニー
- 2018－19年度 地区ガバナーエレクト

大口寄付者（レベル1）

ポール・ハリス・ソサエティ会員

ベネファクター

第10回米山功労者メジャードナー

地区研修・協議会の開催にあたって

次年度RI会長テーマは「ロータリーは世界をつなぐ」です。若い弁護士としてシカゴにやってきたポール・ハリスがロータリーを創設した最大の理由は、見知らぬ街で他の人たちと「つながる」ことでした。今、皆様にはロータリーの奉仕活動を通して有能な、思慮深い、寛大な地域の人々と、さらには世界の人々と手を取り合い、役に立つ、良いことを行うための「つながり」を築く事が求められています。そして、様々な人々との「つながり」が更なる大きな奉仕活動を生むこととなり、会員増強にもつながることが期待されています。

国際ロータリー・ロータリー財団が制作した小冊子の中に、「ロータリーは地域社会を変え、世界を変え、自分自身を変える」というタイトルで、次の2つの事項が列記されています。

- 1：ロータリアンは奉仕活動を通して、新しい考え方や専門知識に触れ、視野を広げることができます。
- 2：ロータリアンはクラブ例会、奉仕プロジェクト、募金活動やネットワークイベントを通して、よりよい人間、地域社会のリーダー、国際人、そして人道活動家となるように、自らを磨いています。

このように、ロータリーは地域社会を変え、世界を変え、自分自身を良い方向に変える力を持っています。そのためには力を得る機会を多く計画し、クラブ会員に提供することが極めて重要だと思います。その中心となるのは、本日お集まりのクラブリーダーの皆様です。皆様のクラブ運営に対するご理解とご協力を心からお願い致します。

皆様方の活発な意見交換により、本日の地区研修・協議会が、実り多い有益な会になりますよう祈念しています。

地区スローガン **「I'm a Rotarian!」**

地区ガバナーノミニー紹介



国際ロータリー第 2690 地区
地区ガバナーノミニー

きくち としお
菊池 捷男

生年月日

1943年10月23日

所属RC

岡山西ロータリークラブ

職業分類

民事弁護士

■略歴

- 1967年 3 月 岡山大学法学部法文学科卒業
- 1970年 4 月 弁護士登録（岡山弁護士会所属）
- 1971年 6 月 菊池捷男法律事務所開所
- 2013年 5 月 弁護士法人菊池綜合法律事務所設立

■ロータリー歴

- 1982年 7 月12日 岡山西ロータリークラブ入会
- 1989－90年度 幹事
- 2002－03年度 第42代会長
- 2006－07年度 第11グループガバナー補佐

大口寄付者（レベル1）

ベネファクター

第2回米山功労者マルチプル

地区ガバナーノミニー・デジグネート紹介



国際ロータリー第 2690 地区
地区ガバナーノミニー・デジグネート

い わ さ き よ う い ち
岩 崎 陽 一

生年月日

1950年12月10日

所属RC

鳥取西ロータリークラブ

職業分類

スーパーマーケット

■略歴

- 1968年 3 月 鳥取商業高等学校卒業
- 1968年 4 月 株式会社ダイエー入社
- 1969年 4 月 有限会社岩崎商店入社（現サンマート）
- 2010年 3 月 代表取締役就任
- 2015年 7 月 NPO法人きずなサポート理事長就任
- 2018年 7 月 フードネットワーク協同組合理事長就任

■ロータリー歴

- 2011年 7 月 8 日 鳥取西ロータリークラブ入会
- 2015－16年度 幹事
- 2018－19年度 副会長

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー（4回）

第7回米山功労者マルチプル

2019－20年度 ガバナー補佐紹介



第1グループ

むら き せい い ち
村木 晴一

倉吉 R C

生年月日 1947年1月3日
職業分類 綿製品配布
事業所 株式会社 ムラキ
役職 代表取締役
ロータリー歴 1988年6月入会
2008-09年度 第56代会長
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー(7回)
第1回米山功労者



第2グループ

こしかわ まこと
越河 允

米子中央 R C

生年月日 1945年1月20日
職業分類 建築用金物販売
事業所 有限会社 越河金属
役職 代表取締役
ロータリー歴 1993年4月入会
2007-08年度 第15代会長
ポール・ハリス・フェロー



第3グループ

や た かず ひ ろ
矢田 和弘

松江東 R C

生年月日 1944年3月14日
職業分類 建築設計
事業所 有限会社 環境計画建築研究所
役職 代表取締役
ロータリー歴 1987年4月入会
2012-13年度 第26代会長
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー(2回)
第1回米山功労者



第4グループ

さ さ き てつ や
佐々木 哲也

平田 R C

生年月日 1963年3月4日
職業分類 胸部外科
事業所 太田医院
役職 院長
ロータリー歴 2004年6月10日入会
2017-18年度 第44代会長
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー(1回)
第1回米山功労者



第5グループ

たかはし こういち
高橋 功一

浜田 R C

生年月日 1952年10月22日
職業分類 穀物販売
事業所 株式会社 ほんき村
役職 代表取締役

ロータリー歴 2001年11月入会
2015-16年度 第57代会長
ポール・ハリス・フェロー
第1回米山功労者



第6グループ

かなたに しんじ
金谷 晋爾

玉島 R C

生年月日 1956年3月28日
職業分類 仏具販売
事業所 株式会社 光
役職 代表取締役社長

ロータリー歴 2008年4月入会
2017-18年度 第52代会長
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー(8回)
ポール・ハリス・ソサエティ会員
ベネファクター
第1回米山功労者



第7グループ

くすど とみお
楠戸 登美夫

倉敷中央 R C

生年月日 1955年1月26日
職業分類 郷土料理
事業所 株式会社 TRY
役職 代表取締役

ロータリー歴 2011年6月入会
2015-16年度 第13代会長
ベネファクター
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー(1回)



第8グループ

はら たけひと
原 武仁

真庭 R C

生年月日 1945年2月20日
職業分類 歯科
事業所 はら こども・ファミリー歯科
役職 名誉院長

ロータリー歴 1996年6月入会
2004-05年度 第23代会長
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー(1回)
第3回米山功労者マルチプル



第9グループ

おかもと ふ み こ
岡本 富美子

備前 R C

生年月日 1949年10月15日
職業分類 社会福祉事業
事業所 社会福祉法人 吉永福祉会
役職 理事長
ロータリー歴 2006年4月入会
2016-17年度 第45代会長
ポール・ハリス・フェロー
ベネファクター



第10グループ

いま い たけし
今井 健

岡山南 R C

生年月日 1940年2月4日
職業分類 整形外科医
事業所 りゅうそうクリニック
役職 院長
ロータリー歴 1989年4月入会
2012-13年度 第57代会長
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー(3回)
ベネファクター
第15回米山功労者メジャードナー



第11グループ

ゆ たに なおゆき
油谷 直幸

岡山西南 R C

生年月日 1948年10月30日
職業分類 ビルディング管理
事業所 株式会社 研美社
役職 代表取締役会長
ロータリー歴 1987年6月入会
2012-13年度 第45代会長
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー(8回)
第7回米山功労者マルチプル

ご来賓名簿

敬称略

元国際ロータリー理事	渡 辺 好 政	(児島RC)
2019年国際ロータリー 研修リーダー	佐 藤 芳 郎	(岡山南RC)
地区ガバナー	末 長 範 彦	(岡山RC)
パストガバナー	鳥 居 滋	(岡山東RC)
パストガバナー	森 田 昭一郎	(倉敷RC)
パストガバナー	森 本 信 一	(津山RC)
パストガバナー	庄 司 尚 史	(境港RC)
地区ガバナーノミニー	菊 池 捷 男	(岡山西RC)
地区ガバナーノミニー・ デジゲネート	岩 崎 陽 一	(鳥取西RC)
地区代表幹事	洗 井 健 一	(岡山RC)
地区会計長	河 原 昭 文	(岡山RC)
次々期地区代表幹事	末 吉 誠 一	(岡山西RC)

地区研修・協議会プログラム

登録・受付

10:30～11:00

本会議

11:00 点鐘

開会の言葉

国歌「君が代」斉唱

ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱

ホストクラブ会長挨拶

ご来賓、次期地区研修リーダーおよび

次期ガバナー補佐紹介

地区ガバナー挨拶

次期地区研修リーダー挨拶

地区活動報告

地区会計報告

司会：次期地区副代表幹事

矢田 信一

地区ガバナーエレクト

古瀬 俱之

次期地区代表幹事

岸 篤彦

ソングリーダー

森山 勝

出雲中央RC会長

北脇 樹二

地区ガバナーエレクト

古瀬 俱之

地区ガバナー

末長 範彦

次期地区研修リーダー

松本 祐二

地区代表幹事

洗井 健一

地区会計長

河原 昭文

地区ガバナーエレクト基調講演

地区ガバナーエレクト

古瀬 俱之

11:40～12:10

12:10～13:00

お知らせ

部門別協議会場へ移動後、昼食

SAA：次期地区庶務幹事

布野 規子

部門別協議会

13:10～14:40

部門別協議

14:40～15:00

協議終了後、全体会議場へ移動

全体会議

司会：次期地区副代表幹事 矢田 信一

15：00 2017-18年度ロータリー財団認証バナー贈呈 バストガバナー 森田昭一郎
2018-19年度地区ガバナーノミニー挨拶 地区ガバナーノミニー 菊池 捷男
2018-19年度地区ガバナーノミニー・デジグネート挨拶

地区ガバナーノミニー・デジグネート 岩崎 陽一

次期地区代表幹事挨拶 次期地区代表幹事 岸 篤彦

次期地区会計長挨拶 次期地区会計長 廣原 俊平

部門別協議会報告

会長部門 地区ガバナーエレクト 古瀬 俱之

幹事部門 次期地区代表幹事 岸 篤彦

職業奉仕部門 次期ガバナー補佐 今井 健

社会奉仕部門 次期ガバナー補佐 油谷 直幸

国際奉仕部門 次期ガバナー補佐 佐々木哲也

青少年奉仕部門 次期ガバナー補佐 高橋 功一

次期地区研修リーダー所感 次期地区研修リーダー 松本 祐二

謝辞 地区ガバナーエレクト 古瀬 俱之

2019-20年度地区大会について 次期地区大会実行委員長 山代 裕始

閉会の言葉 出雲中央RC会長エレクト 阿川 嘉明

17：00 点鐘 地区ガバナーエレクト 古瀬 俱之

お知らせ SAA：次期地区庶務幹事 布野 規子

2019-20 年度

国際ロータリー第 2690 地区 地区目標

最重点目標

クラブのサポートと強化

1. 会員増強 会員が 29 名以下のクラブ 1 名純増 30 名以上のクラブ 2 名以上純増
女性会員、40 歳未満の会員の積極的増強
ローターアクターのロータリークラブへの入会
2. 戦略計画によるクラブの強化、活性化を目指す 戦略計画作成クラブ 20 クラブ
3. ロータリー賞の受賞 20 クラブ
4. My Rotary、クラブセントラル等の有効活用 登録クラブ、入力クラブ 20 クラブ

重点目標

奉仕活動

1. インターアクト、ローターアクトがロータリークラブや地域社会と共に奉仕活動
をする 5 つのプロジェクト
2. 地区補助金、グローバル補助金を利用した地元や海外での効果的な活動
地区補助金利用 40 クラブ グローバル補助金利用 2 クラブ / 5 年

公共イメージと認知度の向上

 いずれも 1 クラブ / グループ

1. 地域社会に発信する「ロータリーデー」の開催
2. 一般向けクラブホームページを作成
3. 「ポリオ撲滅」、「世界を変える行動人」キャンペーンの推進

ロータリー財団と米山奨学会への支援

1. ロータリー財団 年次寄付 150 ドル / 人 ポリオプラスへの寄付 30 ドル / 人
ベネファクター 2 名 / グループ
2. 米山奨学会 普通寄付 5,000 円 / 人 特別寄付 10,000 円 / 人

ロータリーカードの普及

 取得率 15% / クラブ

2020 年ロータリー国際大会参加

6 月 6 日～10 日 ホノルル 10 人以上 / グループ

2019-20年度

ロータリークラブ対象のロータリー賞

ロータリークラブ対象のロータリー賞は、ロータリー戦略計画の優先事項を支えるために、以下に挙げられた活動項目を達成したクラブを称えることを目的としています。クラブは、これらの項目を達成するために丸1年間をかけて取り組みます。

クラブがMy ROTARYでクラブ・会員の情報を更新している限り、多くの項目の達成状況は、国際ロータリーで自動的に確認することができます。いくつかは、ロータリークラブ・セントラルなどのオンラインツールを使って、クラブが達成状況を入力する必要があります。ロータリー賞の受賞資格を満たすには、年度開始時から終了時までクラブが正規にRIに加盟していることが条件となります。2019年7月1日時点の会員数と比較して算出され、2020年7月1日時点の会員数が確定する2020年8月15日以降に表彰されます。

人びとをつなぐ

以下のうち少なくとも5項目を達成

- 少なくとも5名の会員から成るクラブ会員増強委員会を設置し、その委員長を国際ロータリーに報告する。
- 会員1名の純増を達成する。
- 既存会員と新会員の維持率を維持または改善する：
 - クラブの会員維持率を1ポイント上げる。または
 - 2018-19年度のクラブの会員維持率が90%以上である場合、これを維持する。
- 女性会員または40歳以下の会員1名の純増を達成する。
- 会員の職業を調べるために職業分類調査を実施し、地域社会にあるビジネスと専門職の実情に沿った会員基盤を築くために活動する。
- 新しいロータリークラブまたはロータリー地域社会共同隊のスポンサーまたは共同スポンサーとなる。
- インターアクトクラブまたはローターアクトクラブを提唱または共同提唱する。
- ロータリー学友のための行事を開催し、ロータリーでネットワークを広げる機会を紹介する。
- 青少年交換学生またはRYLA参加者を派遣する。

行動する

以下のうち少なくとも5項目を達成

- 少なくとも5名の会員から成るクラブ財団委員会を設置し、その委員長を国際ロータリーに報告する。
- 奉仕プロジェクトに関与する会員数を増やす。
- 年次基金への会員一人当たりの平均寄付額が少なくとも100米ドルとなる。
- ロータリーのポリオ撲滅活動への募金または認識向上を目的とした行事を開く。
- ロータリーの6つの重点分野のいずれかにおいて、意義ある社会奉仕プロジェクトまたは国際奉仕プロジェクトを実施する。
- クラブで成功させたプロジェクトの情報（活動の詳細、ボランティア活動に費やした時間、募金額など）をRotary.orgに投稿する。
- 企業、政府団体、非政府団体とのパートナーシップを継続または確立し、プロジェクトで協力する。
- ロータリーブランドのガイドライン、テンプレート、「世界を変える行動人」キャンペーン用広告・資料、その他の関連資料を活用する。
- クラブとロータリーの活動を伝えるためにクラブ会員がメディアと話す機会を手配する。

2019-20年度

ローターアクトクラブ対象のロータリー賞

ローターアクトクラブ対象のロータリー賞は、ロータリーの優先事項を支えるために、以下に挙げられた活動項目を達成したクラブを称えることを目的としています。クラブは、これらの項目を達成するために丸1年間をかけて取り組みます。

ロータリー賞の受賞資格を満たすには、2019年7月1日より前に国際ロータリーにより認定されているローターアクトクラブであることが条件となります。クラブは、2020年8月15日までに、推薦書の提出を通じて、必要項目を達成したことを報告する必要があります。

人びとをつなぐ

以下のうち少なくとも3項目を達成

- 会員1名の純増を達成する。
- 少なくとも50%の会員が、My ROTARYのプロフィールページに自分のスキルと関心を入力する。
- 双子クラブの関係を築く、または維持する。
- 「世界ローターアクト週間」やローターアクト創立記念日にイベントを実施し、報道機関を招いてクラブとロータリーの活動を伝える。
- 提唱ロータリークラブと共に、ネットワークを広げる行事や交流活動に参加する。

行動する

以下のうち少なくとも3項目を達成

- ポリオプラスへの会員一人あたりの平均寄付額が25米ドルとなる。
- ロータリーのポリオ撲滅活動への募金または認識向上を目的とした行事を開く。
- 提唱ロータリークラブと協力し、ロータリーの6つの重点分野のいずれかにおいて、意義ある社会奉仕プロジェクトまたは国際奉仕プロジェクトを実施する。
- クラブで成功させたプロジェクトの情報（活動の詳細、ボランティア活動に費やした時間、募金額など）をRotary.orgに投稿する。
- ロータリーブランドのガイドライン、テンプレート、「世界を変える行動人」キャンペーン用広告・資料、その他の関連資料を活用する

2019-20年度

インターアクトクラブ対象のロータリー賞

インターアクトクラブ対象のロータリー賞は、ロータリーの優先事項を支えるために、以下に挙げられた活動項目を達成したクラブを称えることを目的としています。クラブは、これらの項目を達成するために丸1年間をかけて取り組みます。

ロータリー賞の受賞資格を満たすには、2019年7月1日よりも前に国際ロータリーにより認定されているインターアクトクラブであることが条件となります。また、2019年7月1日よりも前に、成人のアドバイザー（顧問）が、自分の氏名と連絡先を国際ロータリーに報告する必要があります。提唱ロータリークラブの役員またはインターアクトクラブのアドバイザーが、2020年8月15日までに推薦書を提出します。

人びとをつなぐ

以下のうち少なくとも2項目を達成

- 若いリーダーのためのロータリープログラム（RYLA、ロータリー青少年交換など）を会員に紹介するための会合を開く。
- 提唱ロータリークラブまたはアドバイザー（顧問）と協力して、キャリア開発支援またはメンタリング活動を立ち上げ、参加する。
- 提唱ロータリークラブまたはアドバイザー（顧問）と協力して、卒業するインターアクターにロータリーアクトクラブを紹介する（ロータリーアクトクラブは大学と地域社会のどちらかを基盤としてもよい）。
- 「世界インターアクト週間」やインターアクト創立記念日に活動を実施し、報道機関を招いてクラブとロータリーの活動を伝える。

行動する

以下のうち少なくとも3項目を達成

- 「世界青少年奉仕デー」（Global Youth Service Day）のためのプロジェクトを計画、実行する。
- ロータリーのポリオ撲滅活動への募金または認識向上を目的とした行事を開く。
- 提唱ロータリークラブまたはアドバイザーと協力し、ロータリーの6つの重点分野のいずれかにおいて、意義ある社会奉仕プロジェクトまたは国際奉仕プロジェクトを実施する。
- クラブで成功させたプロジェクトの情報（活動の詳細、ボランティア活動に費やした時間、募金額など）を、提唱ロータリークラブまたはアドバイザーに頼んでRotary.orgに投稿してもらう。
- ロータリーブランドのガイドライン、テンプレート、「世界を変える行動人」キャンペーン用広告・資料、その他の関連資料を活用する。

2019-20年度 ロータリー会長特別賞

なお、今年度は、ロータリー賞の必須項目を達成し、さらに追加項目から1～3項目を達成したロータリークラブに、**ロータリー会長特別賞**が贈られます。

ロータリークラブ対象

ロータリー賞を達成し、さらに以下から1項目を達成した場合「シルバー賞」、2項目達成で「ゴールド賞」、3項目達成で「プラチナ賞」が贈られます。

- リーダーをつなぐ：会員5名以上の純増を達成する。
- 家族をつなぐ：会員の家族、青少年プログラム参加者や地域社会のそのほかの人たちが参加できる家族志向の奉仕プロジェクトを実施する。
- 職業や専門知識をつなぐ：会員のスキルを向上させるため、リーダーシップ、自己研鑽、専門能力開発プログラムなどを開始または継続する。
- 地域社会をつなぐ：少なくとも月に4回、ソーシャルメディアでクラブとその奉仕活動の情報を発信し、クラブ会員がいかに「世界を変える行動人」であるかを示す。

ローターアクトクラブ対象

ロータリー賞を達成し、さらに以下から1項目を達成した場合「シルバー賞」、2項目達成で「ゴールド賞」、3項目達成で「プラチナ賞」が贈られます。

- リーダーをつなぐ：会員5名以上の純増を達成する。
- 家族をつなぐ：会員の家族や友人、青少年プログラム参加者や地域社会のそのほかの人たちが参加できる家族志向の奉仕プロジェクトを実施する。
- 職業や専門知識をつなぐ：会員のスキルを向上させるため、リーダーシップ、自己研鑽、専門能力開発プログラムなどを開始または継続する。
- 地域社会をつなぐ：少なくとも月に4回、ソーシャルメディアでクラブとその奉仕活動の情報を発信し、クラブ会員がいかに「世界を変える行動人」であるかを示す。

インターアクトクラブ対象

ロータリー賞を達成し、さらに以下から1項目を達成した場合「シルバー賞」、2項目達成で「ゴールド賞」、3項目達成で「プラチナ賞」が贈られます。

- リーダーをつなぐ：会員のスキルを向上させるため、リーダーシップ開発プログラムを開始または継続する。
- 家族をつなぐ：会員の家族や友人が参加できる家族志向の奉仕プロジェクトを実施する。
- 学業をつなぐ：提唱ロータリークラブまたはアドバイザーと協力し、地元のロータリークラブが提供している奨学金やそのほかの奨学金の機会を調べ、クラブにその結果を伝える。
- 地域社会をつなぐ：クラブとその活動を紹介したビデオを「インターアクト・ビデオ賞」に応募して、クラブ会員がいかに「世界を変える行動人」であるかを示す。

部門別協議会 役割分担表

部門	会長部門	幹事部門	職業奉仕部門	社会奉仕部門	国際奉仕部門	青少年奉仕部門
会場	ニューウェル シティ出雲 2階 牡丹東	出雲市民会館 3階 301	ニューウェル シティ出雲 2階 銀河	ニューウェル シティ出雲 2階 百合	ニューウェル シティ出雲 2階 牡丹西	出雲市民会館 2階 展示室
カウンセラー	地区ガバナー 末長 範彦 (岡山RC)	パストガバナー 森田 昭一郎 (倉敷RC) 次期地区研修リーダー 松本 祐二 (益田西RC)	元国際ロータリー理事 渡辺 好政 (児島RC)	パストガバナー 庄司 尚史 (境港RC)	2019年国際ロータリー 研修リーダー 佐藤 芳郎 (岡山南RC) パストガバナー 鳥居 滋 (岡山東RC)	パストガバナー 森本 信一 (津山RC)
リーダー	地区ガバナーエレクト 古瀬 俱之 (出雲中央RC)	次期地区代表幹事 岸 篤彦 (出雲中央RC)	次期ガバナー補佐 今井 健 (岡山南RC)	次期ガバナー補佐 油谷 直幸 (岡山西南RC)	次期ガバナー補佐 佐々木 哲也 (平田RC)	次期ガバナー補佐 高橋 功一 (浜田RC)
副リーダー	地区ガバナーノミニー 菊池 捷男 (岡山西RC)	次々期地区代表幹事 末吉 誠一 (岡山西RC)	次期ガバナー補佐 楠戸 登美夫 (倉敷中央RC) 次期ガバナー補佐 越河 允 (米子中央RC)	次期ガバナー補佐 岡本 富美子 (備前RC) 次期ガバナー補佐 矢田 和弘 (松江東RC)	次期ガバナー補佐 金谷 晋爾 (玉島RC)	次期ガバナー補佐 原 武仁 (真庭RC) 次期ガバナー補佐 村木 晴一 (倉吉RC)
S A A	伊藤 浩 (出雲中央RC)	石橋 慶一 (出雲中央RC)	塩野 和正 (出雲中央RC)	鳥屋尾 征幹 (出雲中央RC)	高橋 英一 (出雲中央RC)	伊藤 直子 (出雲中央RC)
記録	松尾 貴久 (出雲中央RC)	佐藤 勝博 (出雲中央RC)	山口 孝之 (出雲中央RC)	今岡 余一良 (出雲中央RC)	内田 政智 (出雲中央RC)	荒木 光治 (出雲中央RC)

部門別協議会【会長部門】

1、クラブ会長の役割について

2、ロータリー賞について

3、会員増強・退会防止の方法について

4、その他

出席者名簿

会場：ニューウェルシティ出雲2階 牡丹東

役 職	氏 名	クラブ名
カウンセラー	末 長 範 彦	岡 山

役 職	氏 名	クラブ名
リーダー	古 瀬 俱 之	出雲中央
副リーダー	菊 池 捷 男	岡山西

	クラブ名	氏 名
第1グループ	智 頭	河 村 仁 志
	倉 吉	清 水 成 眞
	倉 吉 中 央	種 子 晋 司
	倉 吉 東	清 水 雅 文
	鳥 取	高 橋 哲 夫
	鳥 取 中 央	吉 田 修
	鳥 取 北	森 本 美 明
	鳥 取 西	岩 崎 陽 一
第2グループ	境 港	松 本 勝 志
	米 子	長 谷 川 純 一
	米 子 中 央	中 村 暢 宏
	米 子 東	石 部 裕 一
	米 子 南	坂 本 高 司
第3グループ	松 江	櫻 井 誠 己
	松 江 東	川 上 大
	松 江 南	門 永 侯 二
	松江しんじ湖	中 村 寿 男
	隠 岐 西 郷	繁 浪 只 男
第4グループ	平 田	持 田 稔 樹
	出 雲	日 野 実
	出 雲 中 央	阿 川 嘉 明
	出 雲 南	勝 部 径 司
	大 社	和 田 晶 夫
第5グループ	江 津	和 木 田 登
	浜 田	大 石 和 弘
	益 田	田 上 尚 志
	益 田 西	佐 々 木 真 孝
	大 田	田 原 辰 男
第6グループ	井 原	小 塚 一 史
	笠 岡	小 笠 原 和 壽
	笠 岡 東	江 原 和 之
	新 見	名 越 博 波
	総 社	平 田 雅 和
	総社吉備路	池 上 亮 太 郎
	高 梁	荻 田 和 義
	玉 島	小 野 雅 之

	クラブ名	氏 名
第7グループ	児 島	三 宅 智 也
	児 島 東	谷 本 茂
	倉 敷	虫 明 優
	倉 敷 中 央	千 田 修 志
	倉 敷 東	岡 本 英 人
	倉 敷 南	永 井 圭 子
	倉 敷 水 島	平 井 清 一
	倉敷瀬戸内	中 山 永 浩
第8グループ	真 庭	向 井 王 則
	美 作	安 藤 達 実
	津 山	額 田 雅 之
	津 山 中 央	松 尾 俊 明
	津 山 西	井 上 昭 雄
第9グループ	赤 磐	雷 門 喜 助
	備 前	長 崎 信 行
	岡 山	清 水 信 義
	岡 山 東	藤 岡 千 秋
	岡山北西	山 下 浩 一
	岡山後樂園	赤 木 匠
第10グループ	岡山旭川	吉 田 篤 司
	岡山 中 央	河 田 隆 介
	岡山 北	高 取 新
	岡山 南	伊 澤 正 信
	玉 野	槌 田 正 則
第11グループ	岡山 備 南	木 下 修 二
	岡山 城	柳 智 弘
	岡山 岡 南	濱 田 誠 二
	岡山丸の内	延 原 寛 紀
	岡山 西	丸 川 眞 太 郎
	岡山 西 南	松 下 典 裕

役 職	氏 名	クラブ名
S A A	伊 藤 浩	出雲中央
記録	松 尾 貴 久	出雲中央

部門別協議会【幹事部門】

1、幹事の役割について

2、なぜRIや当地区がMy Rotary、クラブセントラルの登録、利用を進めるのか

3、会員増強・退会防止の方法について

4、その他

出席者名簿

会場：出雲市民会館3階 301

役 職	氏 名	クラブ名
カウンセラー	森 田 昭 一 郎	倉 敷
	松 本 祐 二	益田西

役 職	氏 名	クラブ名
リーダー	岸 篤 彦	出雲中央
副リーダー	末 吉 誠 一	岡山西

	クラブ名	氏 名
第1グループ	智 頭	加 藤 達 生
	倉 吉	齋 木 憲 久
	倉 吉 中 央	山 本 浩 一
	倉 吉 東	山 増 正 雄
	鳥 取	山 崎 弘 嗣
	鳥 取 中 央	上 原 武
	鳥 取 北	松 本 啓 介
	鳥 取 西	児 島 良
第2グループ	境 港	市 場 和 志
	米 子	中 島 太 郎
	米 子 中 央	高 橋 直 樹
	米 子 東 南	宮 永 誠 治
	米 子 南	田 中 康 裕
第3グループ	松 江	原 田 光 明
	松 江 東	林 利 宜
	松 江 南	原 田 慎 一
	松江しんじ湖	久 保 田 和 代
	隠 岐 西 郷	高 井 初 子
第4グループ	平 田	杉 原 朋 之
	出 雲	松 井 修 一
	出 雲 中 央	日 野 幹 雄
	出 雲 南	木 村 竜 生
	大 社	草 谷 ち あ き
第5グループ	江 津	山 藤 志 哲
	浜 田	井 上 公 明
	益 田	廣 兼 重 孝
	益 田 西	尾 木 啓 次
	大 田	恒 松 勝
第6グループ	井 原	千々木 弘 道
	笠 岡	藤 井 幸 治
	笠 岡 東	吉 岡 孝 恭
	新 見	三 上 幸 恵
	総 社	高 橋 貢
	総社吉備路	岡 田 孝 文
	高 梁	福 本 洋 之
	玉 島	小 野 裕 之

	クラブ名	氏 名
第7グループ	児 島	難 波 恭 一 郎
	児 島 東	西 山 芳 男
	倉 敷	三 牧 博 史
	倉 敷 中 央	二 宮 厚 子
	倉 敷 東	藤 雅 子
	倉 敷 南	安 藤 雅 弘
	倉 敷 水 島	河 村 進
	倉敷瀬戸内	忠 政 一 行
第8グループ	真 庭	富 岡 裕 和
	美 作	小 林 徹
	津 山	佐 野 芳 章
	津 山 中 央	北 原 賢 一 郎
	津 山 西	坂 野 充 典
第9グループ	赤 磐	欠 席
	備 前	谷 口 貴 久
	岡 山	山 口 哲 史
	岡 山 東	貝 原 明 宏
	岡山北西	西 岡 貞 則
	岡山後楽園	藤 原 學
第10グループ	岡山旭川	小 西 英 昭
	岡山 中 央	藤 原 征 治
	岡山 北 南	馬 場 幸 三
	岡山 南	國 富 郷 太 郎
	玉 野	中 谷 勤
第11グループ	岡山 備 南	岡 本 真 樹
	岡山 城	石 井 信
	岡山 岡 南	豊 田 栄 治
	岡山丸の内	布 目 浩 二
	岡山 西	水 田 美 由 紀
	岡山 西 南	黒 岩 晃 一

役 職	氏 名	クラブ名
S A A	石 橋 慶 一	出雲中央
記録	佐 藤 勝 博	出雲中央

部門別協議会【職業奉仕部門】

- 1、過去2～3年における職業奉仕活動の内容について、具体的に（時期、テーマ又は目的、内容、参加対象者、参加人員等）

- 2、職業奉仕はクラブの活性化に繋がっているかについて

- 3、2019-20年度、或いはそれ以降で計画されている活動について

- 4、職業奉仕とは何か、また、職業奉仕とは何をすべきかとお考えでしょうか
クラブ内で意見交換するような機会について

- 5、その他

出席者名簿

会場：ニューウェルシティ出雲2階 銀河

役 職	氏 名	クラブ名
カウンセラー	渡 辺 好 政	児 島

役 職	氏 名	クラブ名
リーダー	今 井 健	岡山南
副リーダー	楠 戸 登 美 夫	倉敷中央
副リーダー	越 河 允	米子中央

	クラブ名	氏 名
第1グループ	智 頭	欠 席
	倉 吉	津 村 徹 夫
	倉 吉 中 央	谷 口 宗 弘
	倉 吉 東	福 山 育 録
	鳥 取	土 江 征 典
	鳥 取 中 央	荒 田 潤 之 介
	鳥 取 北	白 岩 裕 己
第2グループ	鳥 取 西	松 島 勇
	境 港	松 井 尚 成
	米 子	山 崎 昭 子
	米 子 中 央	小 川 雅
	米 子 東 南	井 上 雄 介
第3グループ	米 子 南	足 立 珠 希
	松 江	矢 野 仁
	松 江 東	今 岡 克 己
	松 江 南	渡 部 正 行
	松江しんじ湖	石 逢 修 二
第4グループ	隠 岐 西 郷	名 越 邦 博
	平 田	三 好 洋 平
	出 雲	江 角 彰 宣
	出 雲 中 央	小 林 和 夫
	出 雲 南	儀 満 秀 明
第5グループ	大 社	大 隅 正 弘
	江 津	和 原 勝 博
	浜 田	畑 岡 匡
	益 田	松 本 結 衣
	益 田 西	矢 富 晋 太 郎
第6グループ	大 田	金 田 慶 三
	井 原	名 部 誠
	笠 岡	吉 岡 大 介
	笠 岡 東	中 新 隆
	新 見	福 田 龍 男
	総 社	中 西 哲 也
	総社吉備路	倉 田 正 春
	高 梁	柴 倉 清
	玉 島	小 林 幸 恵

	クラブ名	氏 名
第7グループ	児 島	片 山 多 実 雄
	児 島 東	片 山 彰 造
	倉 敷	伊 木 勝 道
	倉 敷 中 央	道 明 道 弘
	倉 敷 東	宅 和 博 彦
	倉 敷 南	佐 藤 正 浩
	倉 敷 水 島	西 本 克 寛
	倉敷瀬戸内	秦 範 吉
第8グループ	真 庭	中 井 靖 典
	美 作	井 上 貴 之
	津 山	難 波 賢 治
	津 山 中 央	小 笠 原 卓 宏
	津 山 西	土 田 美 由 紀
第9グループ	赤 磐	岩 本 一 正
	備 前	安 井 元 子
	岡 山	平 田 保 二
	岡 山 東	近 藤 聡 司
	岡山北西	氏 房 信 明
	岡山後楽園	宮 崎 雅 史
第10グループ	岡山旭川	妹 尾 晴 充
	岡山中央	中 野 和 之
	岡山北	高 畠 浩
	岡山南	光 吉 宏
	玉 野	西 岡 晃
第11グループ	岡山備南	上 原 和 成
	岡山城	和 田 義 昭
	岡山岡南	小 倉 俊 彦
	岡山丸の内	清 水 芳 可
	岡山西	重 田 雅 彦
	岡山西南	本 徳 智 英

役 職	氏 名	クラブ名
S A A	塩 野 和 正	出雲中央
記録	山 口 孝 之	出雲中央

部門別協議会【社会奉仕部門】

- 1、過去2～3年における社会奉仕活動の内容について、具体的に（時期、テーマ又は目的、内容、参加対象者、参加人員等）

- 2、地区補助金等を活用された活動について

- 3、2019-20年度、或いはそれ以降で計画されている活動について

- 4、クラブの公共イメージ向上に向けての計画について

- 5、その他

出席者名簿

会場：ニューウェルシティ出雲2階 百合

役 職	氏 名	クラブ名
カウンセラー	庄 司 尚 史	境 港

役 職	氏 名	クラブ名
リーダー	油 谷 直 幸	岡山西南
副リーダー	岡 本 富 美子	備 前
副リーダー	矢 田 和 弘	松江東

	クラブ名	氏 名
第1グループ	智 頭	田 中 潔
	倉 吉	田 中 良 和
	倉 吉 中 央	辻 本 周 平
	倉 吉 東	中 原 裕 之
	鳥 取	糸 川 光 典
	鳥 取 中 央	真 嶋 茂
	鳥 取 北	前 田 清 吉
第2グループ	鳥 取 西	山 村 保 雄
	境 港	浜 田 貴 稔
	米 子	木 村 美 紀
	米 子 中 央	彦 根 義 人
	米 子 東 南	西 村 偉 之
第3グループ	米 子 南	田 中 貴 之
	松 江	谷 口 博 則
	松 江 東	佐 藤 哲 也
	松 江 南	大 野 敏 之
	松江しんじ湖	大 内 茂
第4グループ	隠 岐 西 郷	芝 岡 公 生
	平 田	清 原 正 幸
	出 雲	小 豆 澤 貴 洋
	出 雲 中 央	高 橋 章
	出 雲 南	錦 織 正 夫
第5グループ	大 社	石 部 厚 夫
	江 津	寺 下 衛
	浜 田	茶 円 宥 勝
	益 田	村 木 繁
	益 田 西	岡 崎 寛
第6グループ	大 田	小 川 和 邦
	井 原	藤 井 徳 道
	笠 岡	片 岡 靖 隆
	笠 岡 東	高 橋 剛 吉
	新 見	吉 岡 博
	総 社	上 野 英 子
	総社吉備路	高 北 敏 明
	高 梁	吉 川 幸 成
	玉 島	石 井 晴 樹

	クラブ名	氏 名
第7グループ	児 島	山 崎 泰 弘
	児 島 東	尾 長 実
	倉 敷	西 岡 脊 心
	倉 敷 中 央	高 山 五 三 郎
	倉 敷 東	稲 田 起 一
	倉 敷 南	奥 本 寛
	倉 敷 水 島	小 河 原 武
	倉敷瀬戸内	中 山 田 英 樹
第8グループ	真 庭	朝 崎 玄 暢
	美 作	則 本 孝
	津 山	吉 田 誠 五
	津 山 中 央	中 西 寛 治
	津 山 西	谷 口 康 子
第9グループ	赤 磐	幡 山 寛 念
	備 前	草 加 勝 康
	岡 山	淵 本 定 儀
	岡 山 東	井 上 和 宣
	岡 山 北 西	鈴 木 一 生
	岡山後楽園	光 岡 政 和
第10グループ	岡 山 旭 川	藤 川 義 章
	岡 山 中 央	高 畠 信 一
	岡 山 北	上 野 山 剛
	岡 山 南	小 六 信 和
	玉 野	三 谷 尚 三
第11グループ	岡 山 備 南	吉 永 敏 貴
	岡 山 城	藤 井 崇 行
	岡 山 岡 南	磯 邊 崇
	岡山丸の内	小 川 俊 彦
	岡 山 西	佐 藤 睦 子
	岡 山 西 南	畑 野 比 呂 美

役 職	氏 名	クラブ名
S A A	鳥 屋 尾 征 幹	出雲中央
記録	今 岡 余 一 良	出雲中央

部門別協議会【国際奉仕部門】

- 1、過去2～3年における国際奉仕活動の内容について、具体的に（時期、テーマ又は目的、内容、参加対象者、参加人員等）
- 2、地区世界社会奉仕（DWCS）資金他、地区補助金を活用された活動について
- 3、2019-20年度、或いはそれ以降で計画されている活動について
- 4、海外との交流活動について
- 5、米山記念奨学会への寄付について、その取り組みについて
- 6、その他

出席者名簿

会場：ニューウェルシティ出雲2階 牡丹西

役 職	氏 名	クラブ名
カウンセラー	佐 藤 芳 郎	岡山南
	鳥 居 滋	岡山東

役 職	氏 名	クラブ名
リーダー	佐 々 木 哲 也	平 田
副リーダー	金 谷 晋 爾	玉 島

	クラブ名	氏 名
第1グループ	智 頭	欠 席
	倉 吉	森 田 輝 雄
	倉 吉 中 央	太 田 勝
	倉 吉 東	前 畑 俊 幸
	鳥 取	竹 内 ひ と み
	鳥 取 中 央	森 原 強
	鳥 取 北	入 江 容 子
	鳥 取 西	米 村 年 博
第2グループ	境 港	酒 井 博 淳
	米 子	勝 部 芳 子
	米 子 中 央	岡 本 尊 徳
	米 子 東 南	長 棟 信 泰
	米 子 南	松 田 幸 紀
第3グループ	松 江	上 定 昭 仁
	松 江 東	松 嶋 永 治
	松 江 南	鷗 鶴 順
	松江しんじ湖	小 草 牧 子
	隠 岐 西 郷	三 代 尚 晃
第4グループ	平 田	小 汀 泰 之
	出 雲	石 原 一 徳
	出 雲 中 央	池 淵 俊 雄
	出 雲 南	東 儀 君 子
	大 社	田 邊 達 也
第5グループ	江 津	石 橋 孝 義
	浜 田	矢 口 伸 二
	益 田	矢 富 邦 久
	益 田 西	廣 瀬 雄 一 郎
	大 田	齊 藤 寛
第6グループ	井 原	田 中 弘 治
	笠 岡	藤 澤 晴 康
	笠 岡 東	鈴 木 紘 一
	新 見	小 林 喜 久 雄
	総 社	西 川 良 和
	総社吉備路	山 本 有 道
	高 梁	山 口 史 朗
	玉 島	守 屋 佳 昭

	クラブ名	氏 名
第7グループ	児 島	岡 本 紀 久 雄
	児 島 東	欠 席
	倉 敷	橋 本 真 治
	倉 敷 中 央	原 田 よ り 子
	倉 敷 東	松 田 健 一
	倉 敷 南	小 田 大 介
	倉 敷 水 島	瀧 澤 正
	倉敷瀬戸内	今 村 隆 英
第8グループ	真 庭	永 田 学
	美 作	宮 野 憲 二
	津 山	吉 田 緒 史
	津 山 中 央	有 本 稔
	津 山 西	野 條 健 正
第9グループ	赤 磐	欠 席
	備 前	徳 永 夕 子
	岡 山	岡 本 典 久
	岡 山 東	辻 和 英
	岡山北西	野 田 洋 市
	岡山後楽園	大 角 雄 三
第10グループ	岡山旭川	森 田 富 士 子
	岡山 中 央	河 田 佳 子
	岡山 北	坪 井 翔
	岡山 南	吉 村 充 司
	玉 野	山 田 耕 裕
第11グループ	岡山 備 南	河 口 亮 一
	岡山 城	山 本 英 義
	岡山 岡 南	三 宅 雅 宣
	岡山丸の内	蓮 池 秀 和
	岡山 西	森 本 浩 平
	岡山 西 南	松 本 宣 秀

役 職	氏 名	クラブ名
S A A	高 橋 英 一	出雲中央
記録	内 田 政 智	出雲中央

部門別協議会【青少年奉仕部門】

- 1、過去2～3年における青少年奉仕活動の内容について、具体的に（時期、テーマ又は目的、内容、参加対象者、参加人員等）

- 2、青少年奉仕はクラブの活性化に繋がっているかについて

- 3、2019-20年度、或いはそれ以降で計画されている活動について

- 4、ローターアクト、インターアクトについて

- 5、その他

出席者名簿

会場：出雲市民会館2階 展示室

役 職	氏 名	クラブ名
カウンセラー	森 本 信 一	津 山

役 職	氏 名	クラブ名
リーダー	高 橋 功 一	浜 田
副リーダー	原 武 仁	真 庭
副リーダー	村 木 晴 一	倉 吉

	クラブ名	氏 名
第1グループ	智 頭	(社会奉仕委員長兼務)
	倉 吉	新 井 剛
	倉 吉 中 央	福 井 利 明
	倉 吉 東	岩 本 恭 昌
	鳥 取	萩 原 誉 康
	鳥 取 中 央	山 根 勝
	鳥 取 北	塚 田 隆
第2グループ	鳥 取 西	山 根 宗 信
	境 港	山 崎 慎 也
	米 子	中 井 真 太
	米 子 中 央	鶴 田 陽 介
	米 子 東	松 本 奈 緒 子
第3グループ	米 子 南	岩 崎 武 夫
	松 江	谷 口 正 人
	松 江 東	福 田 誠
	松 江 南	山 本 広 之
	松江しんじ湖 隠 岐 西 郷	岡 崎 朝 臣 橋 本 千 津
第4グループ	平 田	大 谷 良 治
	出 雲	内 藤 輝 一
	出 雲 中 央	山 根 一 生
	出 雲 南	山 根 茂
	大 社	春 日 英 寿
第5グループ	江 津	増 田 敏 弘
	浜 田	布 野 裕 二
	益 田	高 橋 和 男
	益 田 西	村 上 誠 一
	大 田	宮 本 一 成
第6グループ	井 原	長 尾 知 之
	笠 岡	久 我 久 徳
	笠 岡 東	松 田 重 雄
	新 見	田 原 隆 盛
	総 社	松 尾 勇
	総社吉備路	津 高 篤
	高 梁	玉 田 敏 明
	玉 島	高 島 義 樹

	クラブ名	氏 名
第7グループ	児 島	角 南 晃
	児 島 東	神 馬 真 一 郎
	倉 敷	山 本 陽 一
	倉 敷 中 央	長 谷 川 球 美
	倉 敷 東	藤 田 康 孝
	倉 敷 南	石 本 満 雄
	倉 敷 水 島	三 宅 幸 治
	倉敷瀬戸内	岡 田 恭 典
第8グループ	真 庭	植 田 泰 道
	美 作	福 井 彰
	津 山	真 木 秀 高
	津 山 中 央	前 原 知 明
	津 山 西	草 苺 友 美
第9グループ	赤 磐	(社会奉仕委員長兼務)
	備 前	星 合 豪 輝
	岡 山	河 内 良 忠
	岡 山 東	高 橋 憲 志
	岡山北西	入 江 直 人
	岡山後楽園	守 田 敏 英
第10グループ	岡山旭川	原 口 正 行
	岡山 中 央	岩 城 孝 男
	岡山 北	砂 田 信 義
	岡山 南	田 岡 良 一
	玉 野	谷 俊 彦
第11グループ	岡山 備 南	山 崎 哲 也
	岡山 城	津 嶋 明
	岡山 岡 南	猪 木 健 二
	岡山丸の内	儀 間 剛
	岡山 西	千 田 益 生
	岡山 西 南	佐 々 木 翔 平

役 職	氏 名	クラブ名
S A A	伊 藤 直 子	出雲中央
記録	荒 木 光 治	出雲中央

2017-18年度ロータリー財団認証バナー・感謝状贈呈クラブ

● 年次基金への一人当たりの寄付額の上位3クラブ

1位 出雲南RC

2位 岡山西南RC

3位 岡山RC

● 「Every Rotarian. Every Year」クラブ

倉吉RC

倉吉東RC

鳥取RC

出雲RC

出雲中央RC

出雲南RC

大社RC

江津RC

井原RC

笠岡東RC

総社吉備路RC

高梁RC

児島RC

児島東RC

倉敷RC

倉敷中央RC

倉敷東RC

倉敷水島RC

倉敷瀬戸内RC

美作RC

津山西RC

備前RC

岡山北西RC

岡山後楽園RC

岡山旭川RC

岡山中央RC

岡山南RC

岡山西南RC

● 100%ロータリー財団寄付クラブ

倉吉RC

倉吉東RC

鳥取RC

米子東RC

出雲RC

出雲中央RC

出雲南RC

大社RC

江津RC

井原RC

笠岡東RC

総社吉備路RC

高梁RC

児島RC

児島東RC

倉敷RC

倉敷中央RC

倉敷東RC

倉敷水島RC

倉敷瀬戸内RC

美作RC

津山西RC

備前RC

岡山RC

岡山東RC

岡山北西RC

岡山後楽園RC

岡山旭川RC

岡山中央RC

岡山北RC

岡山南RC

岡山備南RC

岡山丸の内RC

岡山西南RC

● End Polio Now : 「歴史をつくるカウントダウン」キャンペーンの感謝状

鳥取RC

境港RC

米子RC

米子東RC

松江RC

松江東RC

松江南RC

松江しんじ湖RC

平田RC

出雲RC

出雲中央RC

出雲南RC

大社RC

浜田RC

益田西RC

井原RC

笠岡RC

笠岡東RC

玉島RC

倉敷RC

倉敷中央RC

倉敷東RC

倉敷南RC

倉敷水島RC

美作RC

岡山RC

岡山東RC

岡山北西RC

岡山中央RC

岡山南RC

玉野RC

岡山丸の内RC

岡山西RC

岡山西南RC

主催者名簿

地区ガバナーエレクト

古瀬 俱之 (出雲中央RC)

次期地区研修リーダー

松本 祐二 (益田西RC)

第1グループ次期ガバナー補佐

村木 晴一 (倉吉RC)

第2グループ次期ガバナー補佐

越河 允 (米子中央RC)

第3グループ次期ガバナー補佐

矢田 和弘 (松江東RC)

第4グループ次期ガバナー補佐

佐々木 哲也 (平田RC)

第5グループ次期ガバナー補佐

高橋 功一 (浜田RC)

第6グループ次期ガバナー補佐

金谷 晋爾 (玉島RC)

第7グループ次期ガバナー補佐

楠戸 登美夫 (倉敷中央RC)

第8グループ次期ガバナー補佐

原 武仁 (真庭RC)

第9グループ次期ガバナー補佐

岡本 富美子 (備前RC)

第10グループ次期ガバナー補佐

今井 健 (岡山南RC)

第11グループ次期ガバナー補佐

油谷 直幸 (岡山西南RC)

次期地区代表幹事

岸 篤彦 (出雲中央RC)

次期地区会計長

廣原 俊平 (出雲中央RC)

次期地区大会実行委員長

山代 裕始 (出雲中央RC)

次期地区副代表幹事(地区研修・協議会担当)

矢田 信一 (出雲中央RC)

次期地区副代表幹事(同上)

堀江 卓史 (出雲中央RC)

次期地区副代表幹事(同上)

浅津 博行 (出雲中央RC)

次期地区副代表幹事(同上)

中村 裕一 (出雲中央RC)

次期地区副代表幹事(同上)

朝山 裕 (出雲中央RC)

次期地区庶務幹事(同上)

金山 均 (出雲中央RC)

次期地区庶務幹事(同上)

石橋 尚子 (出雲中央RC)

ソングリーダー

森山 勝 (出雲中央RC)

ホストクラブ会長

北脇 樹二 (出雲中央RC)

ホストクラブ会長エレクト

阿川 嘉明 (出雲中央RC)

ホストクラブ幹事

石橋 慶一 (出雲中央RC)

ホストクラブ次期幹事

日野 幹雄 (出雲中央RC)

MEMO

奉仕の理想

奉仕の理想に 集いし友よ
御国に捧げん 我等の生業
望むは世界の 久遠の平和
めぐる歯車 いや輝きて
永久に栄えよ
我等のロータリー ロータリー

手に手つないで

1. 手に手つないでつくる友の輪
輪に輪つないでつくる友垣
手に手 輪に輪 ひろがれまわれ
一つ心におおロータリアン
おおロータリアン
2. 手に手つないでつくる友の輪
輪に輪つないでつくる友垣
手に手 輪に輪 ひろがれまわれ
世界とともに おおロータリアン
おおロータリアン

国際ロータリー第 2690 地区
地区ガバナーエレクト

古瀬 俱之

〒693-0004 島根県出雲市渡橋町 826
TEL:0853-77-5599 FAX:0853-77-5534
E-mail: furuse.g-2690@icv.ne.jp